

とよひろ 豊博さん

わたなべ 渡辺

都留文科大学教授



身長183センチ、体重107キログラムの巨体で渡辺豊博教授(63)は、三島(静岡県)のジャンボさんの愛称で親しまれている。静岡県庁在職時代から行政と市民運動との連携に力を注ぎ、富士山の湧水が巡る水の都、ふるさと三島の水辺の環境改善に取り組んで源兵衛川を再生、またNPO法人「富士山クラブ」を立ち上げ

どの組織も重要な問題を抱えています。私にとっけては勝負どころにさしかかっていると考えているのが、世界文化遺産になった

評価されるのか議論の推移を高揚心を持って見ていました。2004年に中国の蘇州で開かれた世界遺産委員会も訪れまし

環境改善、企業・行政・市民・NPOが連携

世界遺産認定、課題山積で逆に危機感

乱開発防止へ90年代からキャンペーン

「富士山クラブ」を立ち上げバイオトイレを導入した。これまで9つのNPOの事務局長をやってきました。現在の中

富士山の諸問題です。昨年6月22日には、国連教育科学文化機関(ユネスコ)の世界遺産委員会で富士山が世界文化遺産に登録された、カンボジアのプノンペン

た。登録された地域は2〜3年後にイコモス(国際記念物遺跡会議)から勧告された宿題(課題)を報告しなければなりません

な」と思いました。40分間の審議議論は、日本側のロビー活動が効いていたのか、「三保松原は素晴らしい」の賛美の連続でした。

静岡県、山梨の新聞社、市民団体と連携して富士山の世界遺産登録のキャンペーンをまとめ役として仕掛けました。94年、3カ月で24.6万もの署名が集まり驚きまし

ほかにも三島ゆすい会、NPO法人富士山測候所(富士山頂上での高所研究)を活用する会、NPO法人富士山エコネット(環境・登山教育)などがあります。

産に登録された、カンボジアのプノンペンの会場にいました。日本人で市民としては私と数人で、ほかは役人や報道関係者だけ。これまで深く関わってきた当事者として、富士山が世界からどのように

「治安の悪化」「環境の悪化」などにより、「世界遺産」から「危機遺産」に格下げされる厳しい現状を目撃しました。「ひよっとしたら富士山は危ないかも」と心配しました。

これは登録されることが最大の目的であって、議論としては全く不毛なものでした。三保松原の逆転登録が話題となりショーと化した。そこに欠けていたのは真摯な議論です。厳しい現実の指摘を我々がいかに切実にとらえて、16年2月の第40回世界遺産委員会で「保全状況報告書」として先の宿題を克服し、だれにも認められるような解決策を提示できるのか。

そうでなければ登録延期など「危機遺産」として逆に負の登録になりかねないことを懸念しました。現在は都留文科大学で「富士山学」「地域環境計画」を教え、グラウンドワーク三島の専務理事として「企業、行政、市民、NPO」のパートナーシップによる地域振興の要となっている。

富士山が世界からどのように

「保全状況報告書」として先の宿題を克服し、だれにも認められるような解決策を提示できるのか。

「聞き手は編集委員 工藤憲雄」

聞き手は編集委員 工藤憲雄

聞き手は編集委員 工藤憲雄

富士と共に生きていく

①

わたなべ とよひろ
渡辺 豊博さん

都留文科大学教授



中学1年生で狩野川の源流から一人でテントを担いで歩き、駿河湾、沼津まで流域調査をやったのけると、今度は富士山へと意欲がわいた。

夏休みの宿題で1週間かけて狩野川を歩き、川の石の大きさや形、森の変化を調査して、それらをまとめたものが、日本学生科学賞を受賞しました。南から北へと流れる狩野川の旅をきっかけとして、次に北から南へと下る富士山へと興味が出て友達と2人で海から徒歩で上り下りました。当時、まだ富士講の歴史が根付いており、歩いていると「お札を買ってきてね」とお金をねじ込まれる。どんだんとお金がかたまりすごい金額になりました。富士山信仰の根強さに驚きました。山頂でお札をもらい全員に届けて歩きました。



富士山でのバイオトイレ設置にも取り組んだ (2001年、中央が本人)

いる。それが富士山の本質的な価値だ」との評価でした。実際の富士山があまりに汚く危険な山であることも知っている。しかし、富士山があまりに普遍的な価値を有しているの、世界の山として評価し、日本の顔を立って登録してくれたのだと思います。

世界遺産は富士山信仰への「過去の評価」であるのに、今の富士山が評価されたみたいにおかしい。山にも環境負荷をかけるだけ

中学生から登山70回以上、現状知り尽くす

観光客増え汚れた山にバイオトイレ

縦割りではダメ、法律で国が一元管理を

それ以来、富士山へは73回登っています。だから富士山もよく理解しています。ユネスコの世界遺産を審査する担当者を4日間、富士山の現場に案内したことがあります。その時の彼らの総合判断は、「類いまれな自然美がベースにある富士山。自然遺産の要素があり、その上に文化遺産がのって

して、もっと活用して金もつけよう」と、世界遺産になった趣旨がわかり曲げられている。現状は信仰の対象としての富士山ではなく、観光の富士山になっています。

ユネスコ(国連教育科学文化機関)関係者の最大の指摘は「管理の一元化」についての体制不備です。統一された管理基本計画がありません。海外の世界遺産地区では、管理者の一元化が入山料徴収の前提条件です。様々な管理者の思惑が交錯して一本化していません。その実効性があるかどうか。一元管理する「富士山庁」の設置が必要不可欠です。

た。私は、この2つの道を廃道に

です。こんな利益優先の世界遺産は世界にはありません。バイオトイレを富士山に導入した渡辺さんには「日本のシンボルがゴミと尿だらけではないのか」という怒りがある。42の山小屋に49カ所のトイレがあり、それは約25万人に対応できる容量です。しかし実際には31万人が来ている。6万人分があふれている。トイレが機能しなくなる。調ではなく故障もあり、維持管理費がかかるので夜間は止めたりしている。6割が稼働しているかど

富士と共に生きていく

②

うかですが、その調査もしていない。開山期間を延長するとおそらく15万人分くらいが、垂れ流し状態になる。9月過ぎに調査しましたが、トイレの周りは白い雪?(紙)が散乱していました。山小屋のバイオトイレには国費や県費等が9割入っています。ピーク時に1日、1万4千人が登っています。正確なデータがなく弾丸登山の実態も把握できていません。今後、国の力を借りて法律をつくり大局的にやるしかありません。日本の宝を世界の宝となるように日本政府が申請したのです。静岡県や山梨県が申請したわけではありません。富士山が変わると思っています。富士山がうまくいかないのは、縦割りで文化庁や環境省、林野庁などそれぞれ法律が入り乱れ、その隙間に利害が絡んでいる。それを全部きちんと横断的に覆う「富士山立法」の制定をやるべきです。

(聞き手は編集委員 工藤憲雄)

わたなべ 豊博さん
渡辺



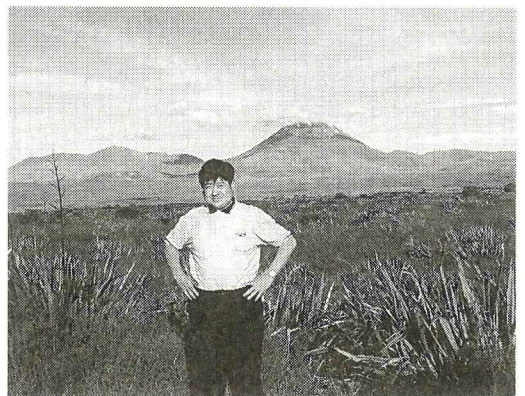
渡辺さんは3月末にニュージーランドのトンガリロ国立公園を訪問する。3度目となるが、ナウルホエ山(2291m)は富士山のようなコニイデ型の美しい山で、世界初の自然遺産と文化遺産の世界複合遺産である。

都留文科大学教授

大学では、文学部社会学科で富士山を体系的に講義しています。水の山であり、荒ぶる山、神の山である富士山とは何か、その価値や多様性について文化的、歴史的、宗教的、あるいは経済、環境、観光、産業などの側面から重層的に解説しています。一つの学科ができるほどです。

富士と共に生きていく

③



ニュージーランドのトンガリロ国立公園の仕組みが大きなヒントに

文化・歴史・経済：山の多様な価値を講義

管理不十分「無秩序で世界一危険」に 総量規制したNZ・トンガリロに学べ

国が大きな視点で一元管理していることで、す。どの国もそう。日本だけが、富士山を県が現実的に管理しているのです。

トンガリロ国立公園の世界遺産のバッファゾーン(緩衝区域)に区域指定されているのは約8万ヘクタ。富士山は約7万ヘクタ。ほぼ似ています。1990年に世界自然遺産とな

国が大きな視点で一元保護省)です。この8万ヘクタの責任者です。国立公園の中には、スキー場、ゴルフ場、ホテル、有名ホテルなど私企業もありますが、モーターを建て替えたい、道路を広げたい、スキー場を大きくしたいという案件に対して、すべてDOCが申請に対応します。富士山であれば、環境省や県、市町村が個別に保全計画を策定して担当部局ごとに対応しており、バラバラな状態が現実の姿です。

DOCは情報を受けて関係部局と協議し、最後の判断と監視を行

公園の仕組みを富士山に置き換えられないかと考える。

トンガリロ国立公園は年間120万人が訪れ、30万人が登る。ゴミ一つなく、し尿の問題もトイレコンポストをヘリで運び出しヘリポートにし尿処理場があり、ヘリは緊急用ヘリとなる。富士山は周辺に3千万人の観光客、5合目に240万人、山頂に30万人と世界最大の山岳観光地です。レンジャー(自然保護官)が230人いるトンガリロ国立公園に対し富士山は3人です。日本は責任者がいません。保全の仕組みができておらず無秩序で世界で一番危険な山、それが富士山です。トンガリロ国立公園は、1日に3千人しか入れません。入山料、ピークカット、総量規制があり、法律を破る者は厳しく罰せられます。

山と比較した環境政策のグローバルスタンダード(世界標準)です。これを学ぶ機会があり大いに参考になりました。

このマウントレーニアと同様、富士山と姉妹山提携をしているナウルホエ山はニュージーランドの北島にあり、オークランドから6時間くらいで行けます。私がこれらの国立公園を訪れて思うのは、

り、3年の歳月をかけ苦勞して文化遺産となり世界で初めて世界複合遺産となりました。先住民(マオリ族)の聖なる山として文化的・宗教的に重要な山で、実は日本が自然遺産ではなく文化遺産で登録しようと試みる時の大きなヒントになりました。

開発行や公園保護に関して一元管理しているのがDOC(自然

います。効率的な横割りの仕組みができています。保護区内の個人財産に対して環境保護を優先させるための規制が出来上がっており、制約・拘束ができる「資源管理法」という法律があるほどです。

すべてに法の網をかぶせてありますが、制限を加えるというのではなく環境と共生した経済活動をしてください、それが前提で監視しますよ、という方針です。DOCは年間管理費の半分は国からの補助金でまかれますが、残り半分を自前で稼ぎます。

渡辺さんは、トンガリロ国立(聞き手は編集委員 工藤憲雄)

富士と共に生きていく

④

都留文科大学教授

わたなべ 豊博さん



渡辺さんのNPO活動の原点は静岡県三島市の源兵衛川の再生にある。今でこそホテルが乱舞し、水中花の三島梅花藻が清流に揺れるが、水の都の名が消えるほどのどぶ川からの出発だった。

静岡県庁に入って役職につき、子供もできて生活も安定した35歳のころでした。自分の仕事と将来を再確認し、ふるさとを見つめ直したいと思う時期だったのです。満天の月と星の下、いつもながら酒を飲んで子供の頃よく遊んだ桜川をのぞくと、水が無く、白い生首のようなものがたくさん浮かんでいました。それはゴミ袋でした。ヘドロと悪臭で気持ちが悪くなりました。家に帰って眠れず、朝方もう一度行ってみました。おぼちゃんゴミを捨て、おじ



汚れていた源兵衛川は再生した(静岡県三島市)

「水の都」三島のどぶ川再生が出発点

「パートナーシップ」が活動のバイブルに

環境・農業・地域振興…生活者や弱者の目線

富士山の恵の鎮守の森や湧水池、子供の頃に遊んだ川はゴミだらけだった。悔しく思い、これは何とかしなければと覚悟しました。

農業土木が専門の渡辺さんは、日本で初めて導入された水環境整備事業で調査費をつけ源兵衛

毎週ゴミを拾い続け嫌みっぱい「川を歩いてどこの家が雑排水を垂れ流しているかを調査する会」などのイベントもやりました。努力しても成果が出ないので多くの支援者が離れていきました。地道な努力だけでは解決しませんでした。1987年からスタートし、行政が動いたのが89年、工事は90年から98年までかかりました。渡辺さんが立ち上げたグラウンドワーク三島は、日本で初めて英国のグラウンドワーク

ちゃんも捨てていた。「何やってるんだあ」と私は切れて叫んだ。しかし、26年間もこんな汚い状態が続き「埋めるしかない」というあきらめの気持ちがまん延していた。「あんた、県庁に行ってるよね。人に文句付ける立場なの。ところでゴミ拾ったことあるの」そう問われ、ゴミを拾ったこと

もなければ、酒ばかりを飲むだらしない毎日だった。調べてみると

川再生に本腰を入れた。

三島ゆうすい会を立ち上げ、2年目にはNPO法人グラウンドワーク三島をつくり8団体のネットワークを構築しました。県庁職員のまま事務局長に。2つの立場を持つリスクは高く、県庁内でもいろいろと言われましたが、マスマディアが取り上げてくれ、当時の知事も「おもしろいことをやっているね」と支えてくれました。

連合体と提携した先駆的なNPOで、都市や周辺の環境改善を市民、行政、企業のパートナーシップにより解決していくことを目的としている。

この15年間で英国に53回行ってます。毎年2〜4回はグラウンドワーク連合体を訪ね三島での活動の報告と情報交換をします。夏は学生のインターンシップを受け入れてもらっています。学生は、英国の田園でグラウンドワークトラス

るときに「水と緑のまちづくり委員会」の名前を考えたのですが、もっとグローバルでブランド力のある国民的運動が先進国にないかと調べ、これだと直感したのが、英国のグラウンドワークの「パートナーシップ」という仕組みでした。三島では「地域総参加」と言っていました。発想を変えました。彼らを源兵衛川の現場に招き、現地調査を踏まえ、10の提案をもらい、それがいまでも活動のバイブルになっています。

グラウンドワーク三島では現在まで約60の事業を展開してきています。水辺の環境再生活動、環境教育、農業再生のほか地域振興の「コミュニティビジネス」です。

街中カフェはお年寄りが街で生きていくための食のサービスを提供しています。街中から八百屋、魚屋が消えました。そうしたはずみを埋めています。1号店は無農薬野菜やお総菜などを安価で提供して喜ばれています。60歳以上の高齢者の雇用も確保し、現在3店舗で15人を雇用しています。年内には5店舗にします。目線を生活者、弱者に向けNPOビジネスを創業しています。シャッター通りの高齢者による新たな再生・活性化に挑戦していくつもりです。(聞き手は編集委員 工藤憲雄)

次回は「Jリーグチェアマンの村井満さん」